

## 第4 谷中霊園再生に向けた取組

### 1 再生方針の実現に向けた取組

谷中霊園の再生テーマである「谷中霊園 - 寺町の風情と緑陰に包まれ、まちの歴史を育む空間 - 」を実現する取り組みは、5つの再生方針を総合的に考慮して進める必要がある。

霊園に必要な機能を確保しつつ、再生方針が求めるさまざまな目的を実現するため、現在の園内施設の見直し・改修を行うほか、多様な取り組みを行うべきである。

以下に、再生方針の実現に向けた具体的な取り組みを示す。

#### 歴史的・人文資源の保全と活用

- ・谷中霊園の歴史を今に伝える桜通りや五重塔跡の広場などは、谷中霊園を象徴する広場や園路として位置づけ、保全、活用していく。
- ・著名人墓所や石碑などは、東京の歩みを伝える歴史的な人文資源として保全、活用していく。

#### 広く都民の利用に供する機能の付加

- ・霊園を訪れる都民が、谷中霊園とその周辺の歴史・文化資源などをめぐることができるよう、散策ルートの設定、園路の辻や霊園のエントランスにおける案内板、パンフレットの作成などにより、情報提供を推進していく。

#### 園路・広場の再生と創出

- ・桜通りや五重塔跡の広場などは、歴史を感じさせる空間として改修していく。
- ・霊園の長い歴史を物語る巨樹については、谷中霊園を特徴付ける広場として保全、活用していく。
- ・一般都民の散策やまちあるきとともに、災害時の避難などに資するため、歩きやすい園路への改修や園路沿いの空間を利用した広場を整備していく。

#### 霊園としての機能の充実

- ・静謐な空間づくりのため、パンフレットやサインなどにより霊園利用マナーの向上を図るとともに、墓所の適正な管理を促進していく。
- ・墓参者の利便を向上するため、園路改修をはじめ、水汲みやゴミ捨て、ベンチ、案内サインなどの霊園施設を充実していく。

### 緑資源の保全と充実

- ・園内の緑を将来にわたり充実させていくため、地域の景観を形成している大きな樹木等を保全するとともに、彼岸など霊園ならではの季節感の醸成や生物の生息環境としての配慮など、良好な緑の空間づくりを進める。
- ・崖線部の緑は、霊園を保全しつつ、緑の連続性を確保するよう保全、再生していく。

上記の取り組みと再生方針との関係を示すと以下の通りとなる。

表 - 5 再生方針とその実現に向けた取り組みの関係

取組 \ 再生方針	江戸以来の歴史や文化を伝える空間として再生	人々がつどい憩うことができる空間として再生	地域の貴重なオープンスペースとして再生	故人を偲ぶ静謐な空間として再生	緑のネットワークの拠点として再生
歴史的・人文資源の保全と活用					
広く都民の利用に供する機能の付加					
園路・広場の再生と創出					
霊園としての機能の充実					
緑資源の保全と充実					

...再生方針の実現に特に効果的な取組

...再生方針の実現に効果的な取組

## 2 谷中霊園再生の概念図

5つの再生方針とその実現に向けた取り組みに基づく、谷中霊園再生の概念図を図 - 14 に示す。



凡例	取組内容
	<b>■シンボル広場</b> 霊園を象徴する広場として位置づけ、歴史を感じさせる空間として整備
	<b>■霊園内の散策と回遊、滞留機能を担保する広場</b> 巨樹や眺望地点など園内の特徴的な資源や地物を活かすとともに、園路の辻など認識しやすい場所に配置
	<b>■エントランス</b> 霊園の入口を明確化するとともに、案内機能を充実
	<b>■霊園の骨格となる園路</b> 霊園を象徴する園路として位置づけ、ゆったりと散策でき、歴史を感じさせる空間として整備
	<b>■ネットワーク園路</b> 散策や墓参の利便を向上させるとともに外部と霊園をつなぐ園路として整備
	<b>■崖線部の緑</b> 景観的にも重要な緑の軸として位置づけ、将来にわたり適切に保全
	<b>■大径木などの緑の空間</b> 地域の景観を形成している大きな樹木などの保全、季節感の醸成、生物の生息環境としての配慮など、良好な緑の空間づくりを進める
	<b>■著名人墓所、石碑など</b> 著名人墓所や石碑などは、東京の歩みを伝える歴史的な人文資源として保全、活用
	<b>■その他</b> 標識・案内板、照明

図 - 14 谷中霊園再生の概念図